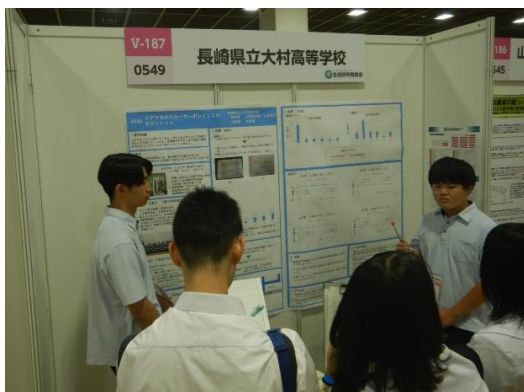


SSH 生徒研究発表会で 成果発表をしました

開催日 令和8年8月5日(水)～6日(木)
場 所 神戸国際展示場
形 式 ポスター発表
趣 旨 全国の SSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校 約 260 校から
各校代表1チームが参加し、研究成果を発表し合う。

出場班 「コアマモのブルーカーボンとしてのポテンシャル」 上田雅奏音、松坂 青空

※ 1年次から、理科部の活動や、文理探究科の探究活動のなかで研究を深めて
いきました。計測方法の確立に時間を要するなど、研究において試行錯誤の
連続だったそうです。



生徒感想

SSH 生徒研究発表会に参加して、他の高校の研究発表を見ることができ、研究のレベルの高さにとても驚きました。発表するたびに、説明の仕方や話し方が少しずつ上達していくことを実感しました。また、深いところまで質問されることで、自分では気づかなかった研究の課題や新しい視点を知ることができました。ホテル周辺の観光もでき、とても楽しい経験になりました。今回学んだことをこれからの進んでいく道で生かしていこうと思います。

SSH 探究発表会に参加し、他校のレベルの高い研究に触れ、大きな刺激を受けることができました。特に印象に残ったのは、「魚の見える世界の再現を目指して」の発表で、魚の視野角などを分析し、どのような見え方をしているか科学的に解き明かしていたところです。また、「魚から見える世界」を再現した写真を提示し、一目で理解できるよう工夫されていました。

今回の参加を通し、探究において大切なのは、情熱を持って研究を深め続けることと、聞き手に伝わる発表を工夫することだということを学ぶことができました。この経験を自分の今後の探究活動に活かし、成果の伝え方にもこだわっていきたいと思いました。